



浜松ハーモニーロータリークラブ週報

No.1004 2020.07.29 (水)

2020~21年度 RI 会長 ホルガー クナーク

RI2620 地区ガバナー 荻原英生 (静岡ロータリークラブ)

Hamamatsu
Harmony RC
Weekly
Bulletin

会長挨拶

前回の例会では、ファイヤーサイドミーティングに続いて、皆様の思いをご発言いただきましてありがとうございました。今まで中々機会もなく、良い共有の場でありました。また続編を企画してきたいと考えています。新たな時代に向けて進んでいきましょう。

さて、日曜日は大雨による鉄道の運行見合わせも伴い急遽、地区米山記念奨学セミナーが開催中止となりました。これは「コロナ感染拡大」も影響したものだと思われませんが、昨今は「コロナ感染」に関しては話題が尽きません。このコロナ禍が今後落ち着いたとしても、終わりになる、つまり「アフターコロナ」になるとは考えにくく、新型コロナウイルスによる医療崩壊を防ぐために、一度だけの対策でない、断続的なソーシャル・ディスタンスの期間がしばらく必要であり、元に戻ることなく、「ウィズ (with) コロナ」、コロナとの共存の時代になるという考えがあるようです。そして今後、経済が回るようになると「安全・安心」という価値が一番貴重なものとなり、それに対してお金を払う時代になる、ともいわれています。そのような中における当クラブの例会開催の方針を、「with コロナに即した柔軟な企画内容による開催と継続努力」としていきます。前提は「ご自身の安全、次に会社・家族の安心を優先して守る」です。また、やるかやらないかの選択において、やらない選択は大きな勇気がある決断です。今後の例会開催についてもやらない選択もあります。しかし、やる選択にはゼロではない、それ以上という価値があり、未知数の可能性があります。そこには、大きなパワーが必要です。だからこそ根気よく、どうしたらできるか、やれるかを追求しようとする心持ちが常に重要であると思います。私の乏しい発想だけでは難しいのですが、皆さんのパワーを結集すれば、価値ある充実した場を作っていけると思います。ここに「ロータリーの本質を理解し、ロータリアンの誇りを持って行動する」ことの重要性を感じる次第です。「前向きで安全な文化をつくらう」「適応能力を身につけて変化を恐れず導こう」へのチャレンジです。

本日は、久しぶりとなる外部講師を招いての卓話となります。渡邊裕司様、大変センシティブな状況の中、貴重な機会をいただきまして誠にありがとうございます。今回も知見を広げることで様々なインスピレーションを得て、仕事や生活の質を一層高めることにつなげていきましょう。本日もよろしくお願いたします。

山口勝義



プログラム 「医療イノベーションの実現に向けて」

渡邊裕司



薬物の人体における作用と動態を研究し、合理的薬物治療を確立する臨床薬理学の観点から、個々の患者に対し最適な薬物治療をいち早く実現することを目指しています。

浜松医科大学では、早期から臨床試験を通じたエビデンス創出や、衣料品開発の重要性を学生や研修医に教育しています。

イノベーション推進のためには、既存薬と希少疾病等を関連付けるためのエビデンス構築に係る研究の促進や産学官の連携の強化、ドラッグリポジショニングの個人的経験等が必要です。



↑ スクール形式、マスク、フェイスシールド着用の会場

ゲスト

渡邊裕司様
(浜松医科大学副学長)

幹事報告

コロナ感染防止のためマスク着の徹底、会場はスクール形式
ガバナーエレクト事務所開設のおしらせ、次週例会のご案内

スマイル

竹内宏幸 (渡邊先生、ご多忙のところ、講師をお引き受けいただき、ありがとうございます。又、素晴らしい資料のご提供ありがとうございます)



浜松ハーモニーロータリークラブ

〒432-8507 浜松市中区東伊場1-3-1 グランドホテル浜松内

Tel: 053-413-1782 Fax: 053-413-1781 e-mail: hhrc@plum.ocn.ne.jp